

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

今回は「セキュリティ対策における社内ルールの必要性」第2弾として、「バックアップの必要性について」のFAXを送らせて頂きました。

もしもウイルスに感染したら……社内データが消えてしまう？

ウイルスに感染した場合、社内の担当者の指示に従い、適切な対応をしなければならないことは先月号でお伝えしました。しかし、このウイルス感染によって、大事な業務データが一瞬にして失われてしまうことがあります。

パソコンや業務データが利用できなくなることで、人件費や多額の復旧コストが発生し、他の業務が停滞するなど、多大なる損失を及ぼす可能性があります。

ウイルス感染だけでなく、災害やハードウェア故障、人的ミスなど、業務データが「利用できない」「損失する」リスクは多く存在します。企業経営への影響を最小化する為に、**重要なデータはバックアップをきちんと取っておきましょう！**

バックアップはどこに取るといいの？

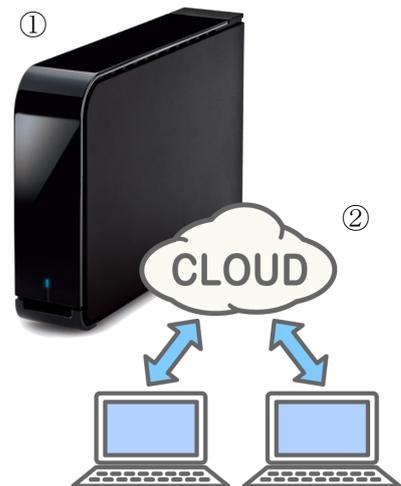
バックアップの種類は大きく分けてローカルとクラウドの2種類あります。理想は両方で行うことですが、最低限でもローカルでのバックアップが必要です。

①ローカル（外付けハードディスク）

パソコン本体にデータを保存するのではなく、右図のような機械でデータを保存するためのものです。USBを差し込むだけなので比較的簡単に扱えます。

②クラウドバックアップ

データを自分のパソコンではなく、インターネット上のサーバーなどに保存します。運用コストがかかりますが、災害対策や使い勝手（外出先やスマホで利用できる点）等でメリットがあります。



※データのバックアップをUSBメモリで取っている企業も多いですが、USBメモリは一時的な簡易記憶装置なので、長期間の保存には適していません。紛失や盗難の被害にあう可能性もあります。あくまでもUSBメモリでの保存はデータの受け渡しなどの一時的な用途にとどめましょう。

敬具

社内回覧確認枠

--	--	--	--	--

発行：株式会社サンエイ

電話：084-922-6190

FAX：0120-22-6190

今後情報提供が不要な場合はチェックを頂きご返信ください。

御社名：
